



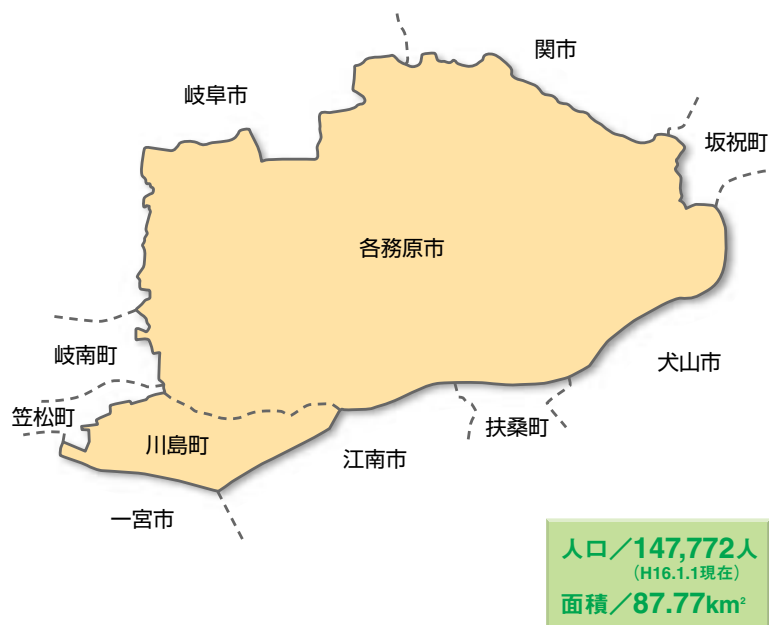
新市建設計画ってなんでしょう？

新市建設計画とは、各務原市と川島町が合併してできる、新しい市のまちづくりの方向性を定めるものです。

この計画を実現することで、各務原市と川島町の速やかな一体化を進め、住民福祉の向上と新市全体の均衡ある発展をめざしていきます。

計画の期間は、平成16年度から平成26年度までの11年度間です。

また、この計画は、社会情勢や財政状況の変化に伴い、所要の手続きを経て、見直しや変更を行うことができます。



今、地方都市に何が求められているのでしょうか？

地方分権の受け皿づくり

住民に最も身近な存在である市町村が、住民の抱えるさまざまな問題に対し、国・県任せでなく、自らの責任によって施策を選択・決定し、解決していかなければなりません。

行財政基盤の強化

長引く景気停滞の中、今まで以上に、低コストで運営できる行政組織体制づくりを進める一方、国や県に頼らない自主財源の確保が求められます。

地域を元気にする新しい都市(まち)づくりが求められています

都市の個性の再復興

私達の住むまちのよさを再発見し、共通する文化を育て、個性ある都市づくりを再スタートします。



「木曾川文化の再構築の場」

地域間競争力の向上

情報化の進展、生活活動や経済活動の広がりにより、様々な分野での連携や交流が行われ、地域間や都市間の競争が激しくなります。



「魅力(個性)ある都市だけが生き残る時代」